

# 林家正雀

2020  
10  
24 [土] 18:30  
25 [日] 14:00

各回◆3,500円  
(小・中学生2,000円)  
2日通し◆6,000円  
(小・中学生3,500円)  
※各回定員30名



# 雀日連続口演

お富  
与三郎  
怪談  
乳房榎

歯切れのいい人情味あふれる語り口で、  
新潟の観客の心をとらえる  
正雀師匠の2年ぶりの独演会。  
人情噺の名作「お富与三郎」と「怪談乳房榎」を  
それぞれ全編(通し)にて演じます。  
お楽しみに!

# 噺の手引き

林家正雀

「お富与三郎」を全篇通して申し上げます。

「木更津見染め」

日本橋横山町伊豆屋の若旦那那与三郎が江戸にいられない訳が出来て、木更津の伯父の家に居候にいて、元は深川一の芸者お富に会い、熱くなるのでした。

「赤間の仕返し」

お富は、土地の親分、赤間源座衛門の女房ですから、与三郎との仲を知った赤間が、与三郎を切ります。お富は、それを見て助からないうと思いい、「先に行きますよ」と言葉を残し海に身を投げる事に。

「源治店」

三十四ヶ所の刀傷を負った与三郎とお富は生きて再会出来ましたが、お富は多座衛門の妾になっていたのです。

「島抜け」

無宿人狩りで捕らえられた与三郎は、佐渡に送られます。幸い荷役を辛抱していましたが、お富恋しさに、ついに島抜けを決意します。

「赤間への仕返し」

島から抜けた与三郎が、非人小屋に身を寄せますが、この主が、赤間の子分の松でその小屋に、源左衛門も立ち寄ったのでした。しかも、与三郎を佐渡に送ったのが、赤間の仕業と知った与三郎は怒りに燃えて赤間の後を追ったのでした。

「品川宿」

お富の為に、追い出された赤間の元女房に思いがけず会い、お金を恵んだ与三郎は、両親に会いたい心から、横山町の伊豆屋の前まで来て、伯父から父の死を聞かされます。「お富に会いたい一心で佐渡を抜けて来た」これを知った伯父が、「お富は今では品川の足頭の妾になっているよ」と教えて貰った与三郎は夢中で品川に向かうのでした。

佐渡を抜け東に向こう赤とんぼ

林家正雀

はやしやししょうじやく

落語家。一九五一年二月二十五日山梨県生まれ。七四年に八代目林家正蔵(のち彦六)に入門し、前座名繁蔵。七八年正雀で二ツ目。八三年同名のまま真打。

「怪談乳房榎」は、「累ヶ淵」、「牡丹燈籠」、「江島屋」と並ぶ、三遊亭圓朝師匠作の怪談噺の名作です。今回は、通して申し上げます。

「向島の花見」

絵師の菱川重信が、女房のおきせ女中、下男を連れて、向島へ花見にやってきましたが、そのおきせを見染めたのが、磯貝浪江と云う浪人者で、それが為に、重信に弟子入りをするのでした。

「落合の螢狩」

南蔵院の本堂の天井に絵を描くと決めた重信は、下男正介を連れ、南蔵院に泊り込みで絵に力を注いでおります。留守を任された浪江は、おきせを口説き、ついに思いを遂げたのです。しかし、邪魔なのは重信と、正介を脅かして味方に付かせて、落合の螢狩に誘い出すのでした。

「十二社の滝」

重信を手にかけて、おきせの入婿となった浪江ですが、今度は、重信の忘れ形見、真与太郎が、「わしを敵と知って睨んで困る」と云って、再び正介を脅かして、真与太郎を十二社の滝に投げ込めと迫るのです。

「松月院の仇討」

正介は、松月院の門番になって、五才になる真与太郎を育てています。それを知った浪江が、正介と真与太郎を斬ろうと、松月院に乗り込んできたのです。

大滝の虹を生みつつなを烈し

10/24 [土] 18:30 「お富与三郎」(全編・通し)

10/25 [日] 14:00 「怪談乳房榎」(全編・通し)

各回◆3,500円(小・中学生2,000円) 2日通し◆6,000円(小・中学生3,500円)

お申込受付開始日:10月7日

本演目は全て事前申込が必要です。参加希望日、お名前、連絡先、参加人数を、電話またはFAX、Eメールで砂丘館までお知らせの上、お申し込みください。

◆電話・FAX 025-222-2676 ◆Eメール sakyukan@bz03.plala.or.jp

会場◆砂丘館 一階和室〈定員各回30名〉

\*新型コロナウイルス感染予防対策を講じて開催いたします。

\*ご参加にあたってはマスクの着用をお願いいたします。また当日検温を実施させていただきます。

私たちは砂丘館の自主事業を応援しています。

丸屋本屋 株式会社

NSGグループ

ISHIKAWA

新潟ビルサービス

砂丘館

新日本銀行新潟支店長役宅

指定管理者:新潟絵屋・新潟ビルサービス特定共同企業体

新潟市中央区西大畑町5218-1 tel.025-222-2676

創業明治13年 丸屋本屋

藤田金属

WIND

郷土の文化に親しむ会

アクセス:新潟駅万代口より浜浦町線C2系統または観光循環バス乗車「西大畑坂上」下車徒歩1分

※砂丘館には駐車場がありません。また、周辺の道路は駐車禁止です。公共交通機関をご利用ください。※新潟市西堀地下駐車場をご利用の方は駐車券提示にて1時間分の無料券を差し上げます。